

第342回教育研究評議会議事要録

1. 日時 令和2年10月6日(火) 13:30~15:50
2. 場所 大会議室(一部web参加)
3. 出席者 三浦学長、塩谷理事・副学長、二見理事・副学長、
内田理事・事務局長、谷副学長、佐野副学長、塘副学長
朝賀人間発達文化学類長、中村評議員、初澤評議員
鈴木行政政策学類長、高橋評議員、福島評議員
貴田岡経済経営学類長、末吉評議員、福富評議員
佐藤共生システム理工学類長、神長評議員、長橋評議員
生源寺食農学類長、荒井評議員、金子評議員
小野原基盤教育主管、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】高橋理事、緑川理事、上井監事、橋本監事
4. 欠席者 なし

5. 議事

【確認事項】

第341回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 大学院の改革について

塩谷理事・副学長から、資料7に基づき、第341回教育研究評議会(9月1日開催)において審議され、各学類教員会議等に意見聴取していた結果に対する回答があり、引き続き、全学集会(10月7日開催)にて提案する大学院の改革の具体的なイメージやガバナンス体制等について説明があった。

質疑応答の中で、回答の詳細、新しい組織形態・ガバナンスのあり方、議論の進め方等について質問及び意見が出され、三浦学長及び塩谷理事・副学長から、回答の取り扱い、大学院構想の詳細、情報発信のあり方等について説明があった。

審議の結果、資料のとおり教職員へ現在の大学院の改革について学内に提案することが承認され、各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

【報告事項】

(1) 福島県内における文化財に係る災害時の応援活動支援に関する協定の締結について

二見理事・副学長から、資料1に基づき、福島県内における文化財に係る災害時の応援活動支援に関する協定の締結について報告があり、引き続き、菊地うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)長から、協定締結に至る経緯や費用等に

ついて説明があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) 「学長特別顧問及び学長参与の設置について」の一部改正について

三浦学長から、資料2に基づき、本学の学長特別顧問及び学長参与に関する申合せにおいては、これらに囑した場合、報酬を出すことのできない取り扱いであったところ、今後は、職責を勘案し、謝金を支給することを可能とするため、申合せを改正することについて報告があった。

質疑応答の中で、現時点でこの改正を行うことについて質問があり、三浦学長から、今後、学長特別顧問を設けることを検討している旨説明があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(3) 学長プランについて

三浦学長から、資料3に基づき、「福島大学ミッション2030」(新学長プラン)を作成したことについて報告があり、プランの概要について説明があった。

質疑応答の中で、本プランの位置づけについて質問があり、三浦学長から、様々な基準が重複することによる煩雑さを軽減するため、第4期中期目標・中期計画を作る際の視点等を考慮し、また、10年先のためにやるべきことは何かという視点を加え、本プランを作成した旨説明があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(4) 令和2年度科学研究費助成事業採択状況について

二見理事・副学長から、資料4に基づき、令和2年度科学研究費助成事業採択状況(7月30日時点)について報告があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(5) 福島大学といわき市の連携・協力に関する協定の締結について

二見理事・副学長から、資料5に基づき、これまで協議を重ねてきたいわき市との連携・協力協定を締結することについて報告があった。また、いわき市との連携事項等については、包括的な表現としており、期間も3年間で双方申し出がなければ自動更新する協定内容である旨説明があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(6) 令和3年度概算要求額の伝達等について

内田理事より、資料6に基づき、文部科学省から伝達があった令和3年度運営費交付金の概算要求額の概要、そのうち本学分の運営費交付金に係る計上額及び施設整備概算要求事業評価結果について報告があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。